

- ② 期日・対象及び参加者数
- 平成5年7月29日(休)～8月1日(日) 3泊4日
 - 県内学校教育関係者、社会教育関係者、並びに高校生、大学生 11名出席

- ③ 研修内容
- 理論
 - ・レクリエーションの意義と目的
 - ・現代社会におけるレクリエーション
 - ・グループレクリエーションの展開法
 - ・レク・プログラム企画の基礎知識と企画の手順
 - ・プログラム運営の基礎知識
 - 実技
 - ・ゲームの実技と指導法
 - ・レク・ダンス・ソングの実技と指導法
 - ・ニュースポーツの実技と指導法
 - ・キャンプファイヤーの実際

2 自然に親しむ親子のつどい

(1) 親子キャンプのつどい

- ① 目的
- 親子のキャンプ生活や野外活動を通して、自然に親しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流を図り、相互の親睦を深める。
- ② 期日・対象及び参加者数
- 平成5年7月10日(土)～11日(日) 1泊2日
 - 県内の小・中学生とその親、または親子グループ 71名参加 (19家族)
- ③ 内容
- ロッジ泊(テント設営研修)と野外炊飯
 - 野外活動(アドベンチャーゲーム)
 - ナイトハイキング

(2) 親子白銀のつどい

- ① 目的
- 親子でスキーを楽しみながら、冬の自然にふれ、親子のふれあいを深めるとともに、他家娘との交流を図り、親睦を深める。
- ② 期日・対象及び参加者数
- 平成6年1月22日(土)～23日(日) 1泊2日
 - 県内の小・中学生とその親、または親子グループ 71名参加 (20家族)
- ③ 内容
- 初歩的なスキー実技(能力別グループ編成)
 - 雪上運動会(宝さがしとそり遊び)
 - もちつき
 - キャンドルファイヤー・交歓会

3 自然に鍛える少年のつどい

(1) 自然に親しむ少年のつどい

- ① 目的
- 自然の中での生活体験を通して、子どもたちの心身をきたえ、自主性・創造性などを発揮させ、自分を律し、自然と調和して生活していこうとする心情を育てる。

- ② 期日・対象及び参加者数
- 平成5年8月5日(休)～8日(日) 3泊4日
 - 県内の小学校5年生以項中学生まで 94名参加

③ 内容

- 丸太と草の材料で住みかづくりとテント設営(野営)
- 塩の道アンド柳津ウォーク
- 川遊び、魚つかみ、野外炊飯
- キャンプファイヤー・交歓会
- ナイトハイキング
- 思い出の記録づくり

(2) 少年スキー教室

- ① 目的
- 雪国会津の白銀の中で、スキーの基礎技能を高めるとともにその楽しさや喜びを味わい、交歓会を通してお互いの親睦と友情を深める。
- ② 期日・対象及び参加者数
- 平成6年2月12日(土)～13日(日) 1泊2日
 - 県内の小学校4年生以上中学生まで
- ③ 内容
- スキーの基礎的技能(能力別班編成)とマナー
 - 交歓会(ゲーム・レクリエーション)

4 休業土曜日における主催事業

(1) 目的

学校週5日制実施に伴う第2土曜日の休業日に、自然体験活動などの事業を実施することにより、子どもたちの自主性と創造性を育てる。

(2) 内容

今年度は、9回実施する。日帰りの月と1泊2日の事業を実施し、ねらいを達成することができた。また、親子のふれあいを深めることができた。

以下に第1回から9回の内容をまとめた。

<第1回> 竹細工教室 当施設内

- ① 期日・対象及び参加者数
- 平成5年5月8日(土) 日帰り
 - 県内の小・中学生(親子も可)
 - 84名参加
- ② 活動内容
- 竹トンボ・竹鉄砲づくり

<第2回> 会津の昔話をきこう。 当施設内

- ① 期日・対象及び参加者数
- 平成5年6月12日(土) 日帰り
 - 県内の小・中学生(親子も可)
 - 88名参加(6家族)

- ② 活動内容
- 昔話を聞く

<第3回> 親子キャンプのつどい 当施設内
(主催事業の項にまとめたので省略)